



遠
992
5止



遠
992
卷 5

梅
松
清

大聖傳卷之五

夫より欲一ききまふ
蒯聵ハ位子立あれ

と衛の莊公と云。又哀公十六年の夏孔

子病ヤキムかりあふ。子貢孔子の病あること

を見と欲して。孔子の室いま子来りし。孔子

杖つえ小こをり玉ひく。唯獨室の門前かど子適あつ遙志

て在るが。子貢が来りて見まひ。賜たま賜たまと云ハ

汝なんぢ来ふし。おんを其晩まやと曰てし。小室こむろふ

入歎ト歌て曰。太山たいざん壊くわいう梁りやう木ぼく摧くわいう哲てつ口くち人ひと

萎し女にょふんうととみ流りゅうと流りゅうして悲かな歎なげ玉たまひ

大聖傳
卷之五
五

梁木とハ梁桂のさうさう。哲人
 とハ明あきかして智ちめる人と云。其女めがんとハ孔子
 命いのちの終はつり玉んたまとを知り玉ひて自みづかとさ
 曰いひて。太山梁木も皆身み論ろん
 又子貢こう謂いて曰いはるハ天下無道
 能よ予よと宗そうとさふてねし。
宗と宗夏かの世の八東階とうかいとせ。周の世は八
 西階さいかいふとき。殷いんの世は八兩桂りやうけいの間まとき。
 殯いんの礼らいとあは。殯いんの喪さうの然しかる予よ昨暮きのう兩桂
 の間ま坐ざ奠ていせし夢あぐらが。喪さうと云いはる予よを

殆たいてい殷いん人じんなりと曰い果はつて七日と過とる遂つい
 卒あつ太たい玉たま。時とき魯の哀公十六年夏四月
 十八日じゅうはちにちなり。孔子年七十三歳さいふ及およぶ。哀公
 孔子は卒あつ玉たまひてと変へん。誄せいと作つくる大おほ
 哀あはまふ。誄せいとハ其人の徳とくめふと云いはる。文ぶん子勝あかつ
 けく。これと哀あはれ死人と弔たづなと云いはる。誄せい子
 もこれと云いはる。四方の國くにより集あつまはる。孔子と
 魯の塚つかは北きたの泗水せいすいと云いはる。知ちの上うへに葬いさむりて
 誄せい子皆みな心喪しんさうする三年。心喪しんさうとハ心中ハ
 父母の喪さうれ如ごとくして。喪服さうふくとバきざるなり。

心喪畢^ハ哭^ク。大^ニ哭^ク。各相別^ルと^シぬ^ク。
唯^ニ子貢^一人^ノ孔子^ノ家^トと^ス。
合^テ六^年。後^ニ合^テ。後^ニ孔子^ノ
弟子^或魯^人孔子^ノ德^ヲ慕^リ。後^ニ孔子^ノ
邊^ニ室^ヲ。故^ニ魯^人此^所と^シて^ハ孔^里と^シ。
魯^國と^シて^ハ世^々相^傳と^ス。
歲^時と^シて^ハ孔子^ト奉^祠と^ス。又^ニ世^々
の^儒者^禮と^講と^ス。道^と談^ハと^ス。時^ハ。
孔子^ノ家^ト祭^リと^シて^ハ後^ニ講^談と^ス。
孔子^ノ家^ト祭^リの^地大^サ百^畝。南^北へ^十步[。]東^西へ^十三^步。
墓^ノ高^サ一^丈二^尺。六^尺と^歩と^ス。家^祭の中^ニ
小^樹多^ク。皆^同類^ノの^樹。皆^同類^ノの^樹。皆^同類^ノの^樹。皆^同類^ノの^樹。
識^者と^シて^ハ民^ノの^傳と^ス。孔子^ノの^諸弟子^ノの中^ニ
異^國の^人各^々。其^國の^樹と^持と^ス。種^々と^ス。
孔子^ノ居^ルと^ス。孔子^ノ居^ルと^ス。孔子^ノ居^ルと^ス。
禮^樂と^學ぶ^内と^ス。後^ニ世^々と^ス。
其^堂へ^{孔子}在^リと^ス。衣^冠と^ス。
車^書の^類と^ス。藏^テ孔子^ノの^廟と^ス。

孔子^ノの^家と^祭と^ス。後^ニ講^談と^ス。
孔子^ノ家^ト祭^リの^地大^サ百^畝。南^北へ^十步[。]東^西へ^十三^步。
墓^ノ高^サ一^丈二^尺。六^尺と^歩と^ス。家^祭の中^ニ
小^樹多^ク。皆^同類^ノの^樹。皆^同類^ノの^樹。皆^同類^ノの^樹。
識^者と^シて^ハ民^ノの^傳と^ス。孔子^ノの^諸弟子^ノの中^ニ
異^國の^人各^々。其^國の^樹と^持と^ス。種^々と^ス。
孔子^ノ居^ルと^ス。孔子^ノ居^ルと^ス。孔子^ノ居^ルと^ス。
禮^樂と^學ぶ^内と^ス。後^ニ世^々と^ス。
其^堂へ^{孔子}在^リと^ス。衣^冠と^ス。
車^書の^類と^ス。藏^テ孔子^ノの^廟と^ス。

世これと祠漢の世小至り。二百餘年
 絶きくしとれり。秦の始皇帝其子二世
 皇帝無道よりて。天下大に亂も萬民
 一日も安全ありべ。日夜憂ひ哀しむるも。
 漢の高祖此憂ひとのぞんとて義兵を
 起し。項羽とて小秦とて亡し。然るも
 項羽又惡逆よりて罪なりと人を殺し。民
 大に苦しむ。又高祖師と起し。項羽と
 亡し。民と撫安よりる。天下大に治り
 る。あれと漢の高皇帝と云。高皇帝

魯國と過日し時。孔子の廟は行幸し大
 牢と以てし。祠ふ。これより六の世に
 絶る。ゆれし。大牢ハ牛羊とりらゆめと
 云なり。又孔子の妻弁官氏の女ハ孔子六十
 六歳の時卒す。孔子の男伯奥ハ五十歳
 ありて孔子よりさきよりて卒し。彼伯奥
 が男と假し。字ハ子思。これ中庸の作者則
 孔子の孫なり。夫より孔子の子孫長く相續
 し。後世孔子よりて文宣王と謚
 せ。後世孔子の教り

順く正路に至る者不鮮。り大聖の忍と
 報るるの如くぞん。豺狼はどもぞらざるべし。
 至聖明德の廣
 大なるるの如く尊び登れるふあゝどや

附録

孔子弟子十哲略傳

孔子曰德行は。顏淵。閔子騫。冉伯牛。仲
 弓。政事は。冉有。季路。言語は。宰我。子貢。
 文學は。子游。子夏。多りと此十人を後世
 孔子十哲と云ふ。哲ハ明あり
 智あり云こ

○顏回ハ魯の人なり。字ハ子淵。孔子より年
 少より三十歳二十九歳ふして髮盡白し。
 弟子三千人の中より孔子の意合しうる者を
 此人なり。德行と以て名と著きを。孔子其仁ざる
 ことと稱美し玉ふ。孔子六十一歳の時此人
 三十二歳よりして魯に於て死す。孔子これ
 とぞ哭し。勤むるよし終身まで仕官とせざる
 ○閔損ハ魯の人なり。字ハ子騫。孔子より年少き
 り十五歳。德行と以て名と著きを。孔子其孝行
 著るるを稱美し玉ふ。孔子曰孝哉。閔子騫。今の

父母昆弟の言と不問昆弟とハ兄弟といふこと
一。不問とハ此人孝子して父母事兄弟は煩
く善をつくも故に他人親子兄弟の間を以て
ずらざることを終身仕官せざる

○冉耕を魯の人あり。字ハ伯牛。德行を以て名と
著き。身悪疾あり。或時孔子自往疾を問ふ
ひ。伯牛が家の牖より伯牛が手と執りて曰く。
命哉。其人にして其疾あることよみて歎ト
む。いづる。伯牛悪疾ありてかゝるをみれば人
見えざる。此語一詠家の説多
然れどもうれと畧ス。終身不仕

して死ス

冉雍ハ魯の人字ハ仲弓。伯牛の宗族孔子
がり年少きより二十九歳。孔子曰く。伯牛の子
は。且角あり。用るる。句と歎とら。山川其舎
めや。初牛牛ハ駁牛なり。ふらに牛の子なりとも
其美ざる時。犠牲に備ふ。山川の神と察
る。神と悪牛の子なり。舎をすま。その
る。伯牛が父ハ賤者なり。ふらに
み。言あり

○冉求ハ魯の人。字ハ子有。孔子より年亦

二十九歳。仕る魯の季康子が宰さいと爲す。孔子は此人と稱美しょうびとす。又藝ぎあり政事せいじと以て名な以もて者ものとす。

○仲由ちゆうゆう字なハ子路しよろ。又季路きよじよ魯の國くに下くだと云い邑むらの人ひとなり。孔子より年少ねんしょうきりる九歳きゅうさい。天性てんせい勇力ゆうりき志し伉かう直ちよく。子路しよろ初はじめてく孔子こうし小見こみえし時とき孔子こうし汝なんぢ何なにと好このむと問とふ。對こたへく長劍ちやうけんと好このむむ。親おやふ事ことく孝かうあり政事せいじと以もて名なと著ある。衛ゑいの亂みだれより討うつ先まへ志し事ことハ四よの卷まき。

○宰さい予よハ魯の人ひとなり。字なハ子我しよが利り口くち辨べん辯べん。

言語げんごと以もて名なと著ある。齊せいハ仕つかる臨菑りんさいの大夫たふふとあり。臨菑りんさい齊せいの都みやこなり。後のち田常でんじやうと云い者ものと亂みだれと爲なりて殺ころす。孔子こうし之これを恥ちかむ。一説いっせつは田常でんじやうと亂みだれを止とどめず。子我しよがと云い者ものは孔子こうしの弟あひ也なり。

○端木賜ぼんたつみハ衛ゑいの人ひとなり。字なハ子貢しよこう。孔子こうしより年少ねんしょうきりる三十一歳さんじゆさい。口くちあり言語げんごと以もて名なと著ある。貨か賞しょうと好このむ家富けふとみ千金せんごふと累かさね喜よろこぶ人の美いと揚あげ人の過あやまりと不とが匿かく常つねは魯國ろこく衛國ゑいこくと相あひ後のち齊せいの國くにハ死しす。

○言偃げんゑんハ吳ごの人ひとなり。一説いっせつは魯人ろにん。字なハ子游しよゆう。孔子こうしより

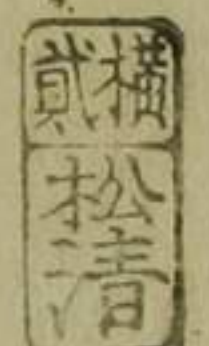
り年少きり四五歳又三十五魯子仕る武城と云知の宰と云。
 或時孔子道と過りて絃歌の聲とやうひ。莞爾とて
 笑て曰。雞と割よばんぞ牛の刀と用。小人いて大道の樂
 小學ハ如此と曰るなり。子游安て曰昔ハ偃いれと夫子い耳
 君子道と學べハ人と受あも。小人道と學べハ使つひ易やし。
 孔子曰。偃いハ言是也此人文學と以て名と著ス。


○ト商ハ衛の人なり。字ハ子夏。孔子より年少きり四十四歳
 文學と以て名と著ス。孔子の道と以て自とが弟子い教き也。魏の
 國の君文侯の師とる。後死を門人礼と盡して是と葬る。
 ねらの人ハ孔子のともをとし深き弟子なりと云や附録畢

大聖傳并附録畢

自跋

大聖傳、史記世家小あり。左氏傳、
 國語、論語、禮記、家語、詩の書、春秋、用あり。沐
 之、雖然、彼と見、是と致いふ。此等の書あり。
 歳時の疑いふ不鮮、又不詳、事多し。然いる
 省に散いる是と多し。少いく杜撰いは恐いる
 物及未、其實と云ふ、皮いの終いあり

可也或之其節々所壽其所以
 其心之違ひも冒然ふ乎固此書ハ
 聖人一世の始終と勝多無量の
 聖惠と知悉むる而も其文の拙を思へ
 のを羅す云々 

武城 岩瀬京傳有濟 
 從弟 全 四郎 惠 謹校

孔子 一世 画圖大聖傳 北尾恭雅筆 岩瀬京傳作 全五冊
 通義粹語傳 京傳作 全一冊

異魔話武可誌 勝川春章画 全三冊
 世中性根魂 同上 全一冊

繪本花會觀 北尾恭雅筆 未刻 全三冊
 聖代愛見茶 同上 全一冊

怪談前席夜話 谷山人編 全五冊
 神儒佛三人酪酏 全一冊

大東閨語補 四方山人作 全一冊
 半化通北山時雨 全一冊

教訓雜長持 再板 全五冊
 見異聞話 未刻 全一冊

書林 文榮堂 御江戸麴町貝坂角 三崎屋清吉梓

